

使い捨てプラのことみんな考えてみた

## Patagonia



製品だけじゃない！  
店舗が進めている  
Patagoniaの取り組みって？



## Patagonia って？



「Patagonia」は、地球を救うことをミッションに掲げるアウトドアブランドです。

「1% for the Planet」として、売上の1%を自然環境の保護や回復のために利用する活動を1985年から続けています。

製品自体も取り組みが進んでいますが、店舗でも面白い取り組みがたくさんあるんです！

Patagonia の店舗での取り組みを聞いてみた！



取り組み1

### マイバッグの持参をお願い

パタゴニア直営店では、2020年8月からお持ち帰り袋の提供を終了しているんです。レジ袋の販売も行っていないので、基本的には購入したものは、そのまま持ち帰ることになります。

レジ袋を配らなくなったことが、お会計のときにお客様とのコミュニケーションのきっかけになっていて、ブランドのポリシーである「環境を改善したい」と思う仲間を増やすことにも繋がっているだそうです！

どうしても袋が必要なときは、他のお客様が提供した  
買い物袋をお借りできます。  
借りた人は次の買い物のときに店舗にお返りする仕組み！

購入だけじゃない取り組みも！

取り組み2

### 店舗で修理もできるんです！

パタゴニアの製品は、破れたり壊れたりしたら、修理してもらえます。基本は、持参した製品をリペアセンターに送って修理しますが、簡単な修理なら店舗で教えてもらいながら自身で修理することもできます！



製品を買ったときの思い出や、破れたときの状況などコミュニケーションをとりながら、自分自身で直すことで愛着を生むことに繋がって長く使ってくれるんだそうです！

修理して長く使い続けることも  
プラ削減に繋がりますね！

## 名古屋店 独自の取り組みも!



### 地域の問題がわかるコミュニティスペース

パタゴニア直営店には、地域での環境問題を発信するコミュニティスペースがあるんです。

毎年発信するテーマは変わっていて、名古屋店では「藤前干潟」の問題が今は紹介されています。藤前干潟は都会に隣接する珍しい干潟ですが、マイクロプラスチックごみや釣りのごみなど、ブラごみによる環境問題も起きており、生態系への影響が懸念されています。

## もちろん製品もプラ対策進んでいます

### 漁網をアップサイクルしたダウン



### ネットプラス コレクション

パタゴニアを代表するダウン・セーターは、漁網を100%リサイクルした「ネットプラス」という生地で作られています。



ネットプラスの他にも、はっ水加工のためによく使われますが、環境負荷の高いPFC加工を使用しない「PFC フリー」など製品によって様々な物語があります。

製品タグをチェックするとわかるようになってるので店舗でチェックしてみてください!

## Patagonia 名古屋店が取り組んでいることまとめ

プラスチック問題を  
広める・考える

コミュニティスペースでの発信や、店舗でのコミュニケーションを通してプラスチック問題について発信しています

使い続けられる  
お買い物袋で  
レジ袋の廃止

マイバッグ持参のお願いだけでなく、お客様同士で共有できる買い物袋など、レジ袋が必要ない仕組み作り

## 店舗からのメッセージ

ぜひ名古屋店にきて、パタゴニアを体験してほしい!

セルフリペアやコミュニティスペースなど  
予想していなかったような有益な情報もお伝えします。

ワクワクしながら遊びに来てくれるとうれしいです。

